

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年02月26日

計画の名称	安全安心な都市公園の改修												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	富士宮市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な公園のトイレ等の公園施設のバリアフリー化を実施し、誰もが安全で安心して利用できる公園とする。 ・公園施設長寿命化計画に基づき、遊具等の改築更新を実施し、安全で安心して利用できる公園とする。 												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	240	A	240	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	31年度までに主要公園の園路等をバリアフリー化し、計画期間内の公園施設のバリアフリー化を100%とする。 主要公園施設のバリアフリー化率 (バリアフリー化された施設数) / (計画期間内のバリアフリー化が必要な施設数)	0%	25%	100%
2	31年度までに緊急度の高い公園施設の改築・更新を40%とする。 公園施設の更新・改築率 (改築・更新された施設数) / (緊急度の高い改築・更新施設数)	0%	27%	40%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	富士宮市	直接	富士宮市	-	-	都市公園安全・安心対策 緊急総合支援事業(富士宮市)	バリアフリー N=2公園	富士宮市						120	-	
	A12-002	公園	一般	富士宮市	直接	富士宮市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業	公園遊具改築更新 N=17公園 N=47施設	富士宮市						120	-	
											小計						240		
											合計						240		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
学識経験者 日本大学工学部土木工学科教授 富士宮市 環境部、花と緑と水の課、環境企画課、都市計画課	令和3年1月
	公表の方法
	富士宮市公式ホームページにて掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	主要公園の公園施設のバリアフリー化整備を実施した結果、誰もが安全で安心して利用できる公園とすることができた。（整備後は公園利用者数が増加している。） 遊具等の改築更新を実施したことにより、利用者の安全性の確保と遊具の長寿命化も行うことができた。（整備後の点検結果は良好である。）
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	主要公園の公園施設のバリアフリー化整備を実施したことにより、公園利用者の増加に大きく寄与する結果となった。特に外神東公園に関しては、隣接するスポーツ施設（市民体育館、市民プール、テニスコート、スポーツ広場等）と一団の「ふじのみやスポーツ公園」を形成し相互利用が図られ、周辺施設との一体利用の促進と市民のスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、有効利用が図られている。
特記事項（今後の方針等）	
<p>事業評価委員会での審議の結果、適切に事業執行されているとともに、事業効果の発現が認められるとの評価を得た。また、委員会から、引き続き、社会資本整備総合交付金を活用しながら、市民に愛され・利用され・憩いの空間となる公園整備の実施を希望するとの意見が付された。</p> <p>これらのことを踏まえ、今後も長寿命化計画に基づき、適宜計画の見直しを行いながら、順次公園施設の更新・改築を進めていく。また、公園施設の整備にあたっては、安全性と利便性の確保を最優先として、日常点検・定期点検の結果及び市民からの要望を踏まえるとともに施設の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減も考慮しながら取り組んでいく。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	最終目標値	40%
	最終実績値	49%
		老朽化が著しい遊具が多く、市単独費も投入して事業を進めたため、最終目標値を上回る結果となった。